



今年の漢字 今年の流行語

今年もあと2週間ほど。とにかくいつもとは違う1年間でしたね。年末恒例・・・今年の漢字一文字は「密」でした。流行語大賞も「3密」。確かに今年を象徴していますね。本来なら「密」は「とても仲が良い」という意味合いで“親密”とか“密接”などの言葉に使われます。それが、“密を避ける”とか“密にならないように”などと使われる言葉になってしまったことがとても残念。みんなが親密に顔を寄せ合って意見を交わしあう授業が戻ってくることを願うばかりです。

通知表の見方・活かし方

～学習のしおりも参照してね～

来週は三者懇談。成績が気になっている人も多いのでは？通知表で真っ先に目が行くのは5段階の評定でしょうか。「テストでいい点取れたから評価は上がったかな！？」とワクワク。「提出物があまり出せなかったから下がってるかも？！」とドキドキ。そんな期待と不安を抱きながらの三者懇談を迎えることでしょう。

ところで、みなさんは評価評定のしかたをご存じですか？かんたんに言うと、4つの観点（国語は5つの観点）のそれぞれに対してABCの3段階で評価し、このABCの割合で5段階の評定を行います。

え？よくわからない？

では、100点満点のテストのみで成績をつけると仮定して具体的に見てみましょう

AさんとBさんは共にテストの点が80点。でも、評定はAさんが3、Bさんは4でした。なぜ??

このテストには①～④の4つの観点別に問題が作ってありました。

配点は①が30点 ②が20点 ③が20点 ④が30点 合計100点です。

Aさんの得点は ①が30点 ②が20点 ③が20点 ④が10点 で80点

Bさんの得点は ①が25点 ②が10点 ③が20点 ④が25点 で80点

観点別に「80%以上でA」「50%以上でB」「50%未満をC」と評価しますので

Aさんは ①A ②A ③A ④C Bさんは ①A ②B ③A ④A となります

AAACは評定が3 いっぽう ABAAは評定が4 となります。

同じ合計点でも、観点別に評価するので違いが出てきてしまうのです。

もちろん、実際はテストだけで判断するわけではありません！！授業全般をこのように評価しています

この観点別の評価方法は、自分の現在の力を把握し、今後の努力点を知るのに役立ちます。たとえば、「興味・意欲・関心」の観点の評価が落ち込んでいたら、もしかしたら提出物が不十分だったのかもしれませんがね。だとしたら3学期何をがんばればいいのか見えてきますね。通知表の成績は、単にその結果だけで一喜一憂するのではなく、どうしたらより力がつくか、学力が向上するかそのヒントが示されています。通知表をもらったなら、数字だけでなくABCの評価とその観点をよく見てみてくださいね。



保護者の皆様へ

生徒用 PC が1人1台配置されました！！

草津市では今年度まで3人に1台の割合でタブレット（パソコン）を配置し、各教室には大画面の電子黒板型テレビを設置して、生徒の学習環境づくりに努めてきました。今年度は生徒用コンピュータを一新し、生徒1人に1台のモバイルパソコンを配置。また、教室内及び体育館では常時 wifi によるネットワーク接続が可能になり、

12月からその運用が始まりました。今後、これらの機器を学校での学習に活用するとともに、万が一臨時休校の措置が取られた場合などは、パソコンを自宅に持ち帰り、リモート授業が可能になります。なお、パソコンは市からの貸与品ですので、使用方法を守り、大切に扱うようお願いいたします。



老上中学校 電話 077-564-4394 FAX 077-566-1174

ホームページ <http://www.oikami-j.skc.ed.jp>

※学校の行事予定が学校ホームページにアップされています。そちらもご覧ください。